

# おおなみ 修 二

市政報告 2022年10月

大和市西鶴間 5-22-6 TEL 263-0578

HP <http://onami-syuji.com/> 大波修二で検索

日本や世界の情勢が不安を伴い、はっきりしません。今こそ正しい世論を形成していくときです。市民が暮らしやすい社会をめざして、先頭に立って負けずにがんばります。  
**大波 修二**



## 市民の命と財産を守る為 市は毅然とした態度を

**大波質問** 米空軍の垂直離着陸輸送機CV-22オスプレイに事故があつて、米海軍は、全ての

CV-22の飛行の停止を指示しました。開発中から現在までに、48件の墜落あるいは事故が発生、40名以上の兵士が死んでいます。しかし、こんなに大勢の兵士が死亡しても、飛行停止をして、原因を徹底的に追及していません。この事故は、エンジンとプロペラとの間にあるクラッチが原因でかみ合わなくなり、プロペラが動かなくなる事が原因と発表されていますが、すぐに飛行訓練すれば安全飛行ができるとして飛行を再開させました。これは非常に危険な行動です。いつ墜落するか、わからないような状況で飛んでいるのです。ここ厚木基地にもオスプレイは、1か月の間に30機以上も飛来してきています。

**大波質問** 現在、新型コロナ禍の日本の状況は、1週間の死者数が

## コロナの感染症対策 科学的な専門家の意見を



私たちの上空を飛ぶ  
オスプレイは「危険な乗り物」です

いのですか。更には、基地対策の専門家の指導を受ける必要があります。私たちの命を考えない、危ない飛び方に対して、大和市は、もっと米軍に怒る必要があります。  
**市答弁** 国からはオスプレイの安全性に問題はないとの説明があります。本市では国に点検、整備の徹底など、オスプレイの安全対策に万全を期すよう申し入れ、厚木基地周辺が極めて人口密度の高い地域である事を認識させ、厚木基地を使用する全ての航空機の安全対策に万全を期すよう求めました。

世界第2位になりました。WHO（世界保健機構）がまとめた調査によりますと、1週間の新型コロナウィルスの感染状況は、日本で新規感染者数が4週間連続、世界で最も多くなったのです。なぜこんなに感染するのかについて専門家は「感染は人と人とのいろいろな形での、交わりがその基本的な原因なのですが、それが非常に曖昧にされてきた結果です。」と意見を述べています。実際に何とかしなければならぬ状況下にありますから、専門家の科学的で正確な認識が伝わらず、政府の方針として出されなかつたという形が続いたと思つています。

- 1 保健所の管轄区域の再検討（大和市に一カ所）や人員体制の強化。
- 2 発生届の簡略化と情報連携。
- 3 感染症対策の地域医療供給体制の強化と医療機関支援。
- 4 第8次保健医療計画における感染症対策を尋ねます。

**市答弁** 管轄区域や人員体制は県の所管です。発生届は国が既に簡略化を行つております。感染症に係る地域医療提供体制の確保は、神奈川県が主体的に補助金や物資の提供の支援をしています。県は現在、地域医療提供体制の整備に関わる第8次保健医療計画の策定を進めています。

# 遅々として温暖化対策 このままでは手遅れに

―国・県・市の対応は遅すぎる―

## 大波質問

地球温暖化の結果、現在世界で最も危険な地域はアジアのパキスタンです。記録的な洪水で、インダス川下流の南部地域に幅100キロの巨大な湖が出現しました。大和市は、大和市気候非常事態宣言を実施し「2050年度までに、温室効果ガス排出量実質ゼロの実現を市民、事業者、国及び他自治体などと密接に連携・協力しながら目指し、30年間のうちに二酸化炭素の排出をゼロにする。」としています。

しかし現在、大和市は1年間に100万トンの二酸化炭素を出しています。この100万トンの二酸化炭素排出のエネルギーは二酸化炭素排出係数などを使って計算すると、1年間に約149万キロワットの電力が必要になります。相模原市津久井町にある水力発電所の能力が2万5千キロワットですので、二酸化炭素排出ゼロにするにはこの規模の発電所が約60基大和市に必要であり、毎年2基造る必要があります。また、東京都が温暖化ガスの

削減に有効な太陽光発電について、2025年4月から都内の新築一戸建て住宅全てに設置を義務づけるような方向で今検討しています。太陽光パネル覇権争いが激しくなる事が予想されます。温暖化に対する市民や子どもたちに対する環境教育は、年間どのぐらいの時間をかけていますか。今ヨーロッパでは、学校で1年間に約1000時間学びますが、「温暖化について学ぶ時間が2、3%では少な過ぎる」と市民から批判が出ています。温暖化の危機的な状況から、ともに学ぶ体制の時間は10%以上必要ではないかと思ひ、お尋ねいたします。

## 市答弁

大和市の地球温暖化対策の目標を定めました。今後は公

共施設への太陽光発電設備や、市民に対する設置補助を進めたいと考えています。今後も市民や子どもへの意識啓発に務めてまいります。



私たちの住む  
青い地球はどこへ!

# 今議会で中国との再戦 争は避けるべきと言う声 を国に届けて欲しいとい う請願書が論議される

## 戦争に向かう政権に 不再戦の意思を

## 大波意見

日本の軍備力強化

に不安の声が広がっています。戦争は一般的に国家や集団が起こすものですが、その根本には人間や集団個々の欲求や心理が深く関係しています。こうした心理・感情を時の権力者は反対意見として「無視・弾圧」し、暴走を起こしてきました。日本の現在の政権は「日本は国家の防衛を強固なものとし、日米同盟を更に強化するために軍事能力を急速に向上させる」ことを決意しています。日米同盟国の米国は経済や技術力など、あらゆる面で中国を「国際秩序に挑戦する唯一の競争相手」と位置づけた上で、「新しい国際規範や合意を形作るのは米国だ」と宣言しています。一方、台湾は中国に対し、「無責任で挑発的な行為」をやめるよう強く求めました。基本的にはアメリカは台湾が

中国の内政問題であると宣言してきたからです。米中対立はさらに深まる方向です。日本はそれに巻き込まれる危険が十分にあります。東京新聞のアンケート調査は、米中関係の対立はもつと悪くなると思う89%以上の意見です。アンケートでは日本は岸田首相と習近平国家主席と会談すべきと言う意向があり、まず話し合いで信頼を回復させる必要があると答えています。大和市議会も世論の動向に答えていくべきです。なんとしても 日中のこれ以上の対立は避けるべきです。

私はこの請願の紹介議員になり賛成しました。

しかし

この請願書は賛成少数で不採  
択となりました



※本議会の詳細は  
大和市議会HPを  
ご覧ください